

朝日ライフ クオオンツ 日本株オープン

追加型投信／国内／株式



朝日ライフ アセットマネジメント

本書は金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

- 1 . この投資信託説明書（請求目論見書）により行う朝日ライフ クオンツ 日本株オープンの受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第5条の規定により有価証券届出書を平成21年9月18日に関東財務局長に提出しており、平成21年9月19日にその効力が生じております。
- 2 . 当ファンドは、主に国内の株式を実質的な投資対象としますので、組入れた株式の価格の下落や、組入れた株式の発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 3 . 当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。
- 4 . 信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。
- 5 . 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

目 次

第三部	ファンドの詳細情報	1
	第1 ファンドの沿革	1
	第2 手続等	1
	1 申込（販売）手続等	1
	2 換金（解約）手続等	1
	第3 管理及び運営	2
	1 資産管理等の概要	2
	2 受益者の権利等	4
	第4 ファンドの経理状況	6
	1 財務諸表	9
	2 ファンドの現況	29
	第5 設定及び解約の実績	29

第三部 ファンドの詳細情報

第1 ファンドの沿革

平成11年7月2日 信託契約締結、ファンドの設定・運用開始

第2 手続等

1 申込（販売）手続等

取得申込みは、申込期間における販売会社の営業日にいつでも行うことができます。申込受付時間は、原則として午後3時^注までとし、当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分として取り扱います。

注：販売会社によっては午後3時より前に受け付けを締め切ることがありますので、各販売会社にご確認ください。

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、取得申込みと同時にまたはあらかじめ、自己のために開設されたファンドの受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録が行われます。なお、販売会社は、当該取得申込金額の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者に係る口数の増加の記載または記録を行います。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行います。振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。委託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権に係る信託を設定した旨の通知を行います。

当ファンドには、収益分配金の受取方法の別により、収益分配金を受け取る「分配金受取コース」と、税金を差し引いた後の収益分配金を無手数料で再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つの申込方法があります。申込方法および申込単位は、販売会社が個別に定めるものとします。ただし、「自動けいぞく投資コース」における収益分配金の再投資については、1口単位となります。

お申込み価額は、取得申込受付日の基準価額です。取得申込みには、お申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等が別に加算されます。ただし、「自動けいぞく投資コース」における収益分配金の再投資については、当該計算期間終了日の基準価額となります。

お申込手数料は、取得申込受付日の基準価額に、2.1%（税抜2.0%^注）を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。

注：ここでの税とは、申込手数料にかかる消費税および地方消費税（以下「消費税等」といい、税率は合計で5%です。）をいいます。

取得申込者は、取得申込金額をお申込みの販売会社に、当該販売会社が指定する期日までに支払うものとします。

「自動けいぞく投資コース」を選択する場合には、販売会社との間で「自動けいぞく投資約款^注」にしたがって契約を締結します。

また、「自動けいぞく投資コース」を選択した取得申込者が、「定時定額購入サービス」を利用する場合には、販売会社との間で「定時定額購入サービス」等に関する契約^注を締結するものとします。なお、「定時定額購入サービス」等の取扱いの有無については、お申込みの販売会社にご確認ください。

注：販売会社によっては、当該契約または規定について、同様の権利義務関係を定める名称の異なる契約または規定を使用することがあります。この場合、当該別の名称に読み替えるものとします。

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた取得申込みの受け付けを取り消すことがあります。取得申込みの受け付けが中止された場合には、取得申込者は当該受付中止以前に行った当日の取得申込みを撤回できます。ただし、取得申込者がその取得申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に取得申込みを受け付けたものとします。

2 換金（解約）手続等

< 解約請求について >

解約請求は、販売会社の営業日にいつでも行うことができます。受付時間は、原則として午後3時^注までとし、当該解約請求に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の解約請求受付分として取り扱います。

注：販売会社によっては午後3時より前に受け付けを締め切ることがありますので、各販売会社にご確認ください。

委託会社は、解約請求を受け付けた場合には、この信託契約の一部を解約します。

解約請求を行う受益者は、販売会社に対し振替受益権をもって行うものとします。解約請求を行う受益者

は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求に係るこの信託契約の一部解約を委託会社が行うのと引き換えに、当該一部解約に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。ご解約単位は、販売会社が個別に定める単位とします。

ご解約価額は、解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額(基準価額の0.3%)を差し引いた額です。1口当たりの解約価額に解約口数を乗じて得た額から、税金を差し引いた額がお受取金額となります。

税金については、交付目論見書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 4 手数料等及び税金(5)課税上の取扱い」をご覧ください。

ご解約代金は、解約請求受付日から起算して、原則として4営業日目から販売会社の営業所等において受益者に支払われます。

信託財産の資金管理を円滑に行うために大口の解約請求には制限を設ける場合があります。

委託会社は、金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた解約請求の受け付けを取り消すことがあります。解約請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとし、

第3 管理及び運営

1 資産管理等の概要

(1) 資産の評価

基準価額の計算

基準価額は、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(以下「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権総口数で除して計算します。基準価額は、便宜上1万口当たりで表示されます。

当ファンドの信託財産に属する資産のうち、主要投資対象およびその評価方法は以下のとおりです。

「朝日ライフ クオントゥ 日本株マザーファンド」 受益証券	移動平均法に基づき、基準価額により評価しています。
----------------------------------	---------------------------

<参考> 「朝日ライフ クオントゥ 日本株マザーファンド」の主要投資対象およびその評価方法

株式	移動平均法に基づき、原則として時価で評価しています。時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)または金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しています。
----	---

基準価額の計算頻度と公表

基準価額は、委託会社の毎営業日に計算されます。基準価額は、販売会社または委託会社へお問い合わせいただけるほか、原則として計算日の翌日付の日本経済新聞朝刊に、朝日ライフ「クオントゥ」として掲載されます。

<p>委託会社：朝日ライフ アセットマネジメント株式会社</p> <p>ホームページアドレス http://www.alamco.co.jp/</p> <p>フリーダイヤル 0120 - 283104 <small>フ ァ ソ ッ ト ウ シ ャ</small> (営業日の9:00~17:00)</p>

(2) 保管

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります。したがって、委託会社は受益証券を発行しません。

(3) 信託期間

信託期間は無期限ですが、「(5)その他 信託の終了(償還)」の規定により信託を終了させる場合があります。

(4) 計算期間

計算期間は、毎年6月23日から翌年6月22日までとします。ただし、各計算期間終了日に該当する日が休業日のときは該当日の翌営業日を各計算期間の終了日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

(5) その他

信託の終了(償還)

- 1) 委託会社は、信託期間中において、受益権の口数が当初設定受益権口数の10分の1を下回ることとなった場合、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- 2) 委託会社は、1)の事項について、あらかじめ、解約しようとする旨を公告し、かつ、その旨を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる受益者に対して交付します。ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- 3) 2)の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。
- 4) 委託会社は、3)の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、1)の信託契約の解約をしません。
- 5) 委託会社は、この信託契約の解約をしないこととしたときは、解約しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- 6) 3)から5)までの規定は、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、3)の一定の期間が1ヵ月を下らずにその公告および書面の交付を行うことが困難な場合には適用しません。
- 7) 委託会社は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。
- 8) 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託会社は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の投資信託委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、「信託約款の変更4)」に該当する場合を除き、当該投資信託委託会社と受託会社との間において存続します。
- 9) 受託会社はその任務を辞任した場合または裁判所が受託会社を解任した場合において委託会社が新たな受託会社を選任できないときは、委託会社はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

償還金について

- 1) 償還金は、信託終了日(以下「償還日」といいます。)の後1ヵ月以内の委託会社の指定する日から、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込金額支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については、原則として取得申込者とします。)に支払います。
- 2) 償還金の支払いは、販売会社において原則として償還日(償還日に該当する日が休業日の場合には翌営業日)から起算して5営業日までに開始します。

信託約款の変更

- 1) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この信託約款を変更することができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
- 2) 委託会社は、1)の変更事項のうち、その内容が重大なものについて、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面をこの信託契約に係る知られたる受益者に

対して交付します。ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。

- 3) 2)の公告および書面には、受益者で異議のある者は一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。なお、一定の期間は1ヵ月を下らないものとします。
- 4) 委託会社は、3)の一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の2分の1を超えるときは、1)の信託約款の変更をしません。
- 5) 委託会社は、信託約款の変更をしないこととしたときは、変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、これらの事項を記載した書面を知られたる受益者に対して交付します。ただし、すべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。
- 6) 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、1)から5)までの規定にしたがいます。

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

関係法人との契約の更改

- 1) 委託会社と受託会社との間の信託契約は無期限です。ただし、「信託の終了(償還)」に該当することとなった場合には解約されます。
- 2) 委託会社と販売会社との間の募集・販売等に関する契約は、期間満了の3ヵ月前までに委託会社および販売会社のいずれからも別段の意思表示がない限り、同一の条件で更新されます。

運用報告書の作成および交付

委託会社は、毎期決算後に期中の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成し、販売会社を通じて知られたる受益者に交付します。

信託事務処理の委託

受託会社は、再信託受託会社と再信託契約を締結することにより、当ファンドの信託財産すべてを再信託受託会社へ移管し、当ファンドに係る信託事務処理の一部を委託することがあります。その場合には、信託財産の管理に係る事務のうち再信託に係る契約書類に基づく所定の事務を行います。

なお、再信託受託会社が受ける信託事務処理の一部の委託に係る報酬は、受託会社が受け取る信託報酬の中から当事者間で支払われるものとし、信託財産からの直接的な支弁は行いません。

2 受益者の権利等

受益者の有する主な権利は、次のとおりです。

収益分配金に対する請求権

受益者は、委託会社の決定した収益分配金を、持ち分に応じて請求する権利を有します。収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金に係る決算日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該収益分配金に係る計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込金額支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始します。「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合は、収益分配金は税引き後無手数料で再投資され、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

受益者が支払開始日から5年間請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属するものとします。

償還金に対する請求権

受益者は、償還金を、持ち分に応じて請求する権利を有します。償還金は、信託終了日（以下「償還日」といいます。）の後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（以下「支払開始日」といいます。）から償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権に係る受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込金額支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託会社がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。償還金の支払いは、販売会社において原則として償還日（償還日に該当する日が休業日の場合には翌営業日）から起算して5営業日までに開始します。

受益者が支払開始日から10年間請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属するものとします。

換金（解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、委託会社に解約請求をすることができます。詳細は、「第2 手続等 2 換金（解約）手続等」の記載をご参照ください。

反対者の買取請求権

信託約款の変更の内容が重大なものに該当する場合または信託契約の解約が行われる場合において、所定の期間内に異議を述べた受益者は、自己に帰属する受益権について、受託会社に対して買取請求を行うことができます。

帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内に当ファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧を請求することができます。

第4 ファンドの経理状況

当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式および作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号および平成20年12月12日付内閣府令第80号により改正されておりますが、第9期計算期間(平成19年6月23日から平成20年6月23日まで)については内閣府令第50号附則第2条第1項第1号により、内閣府令第50号改正前の財務諸表等規則および内閣府令第80号改正前の財務諸表等規則に基づき作成しており、第10期計算期間(平成20年6月24日から平成21年6月22日まで)については内閣府令第50号附則第2条第1項第1号により、内閣府令第50号改正前の財務諸表等規則および内閣府令第80号改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、投資信託財産計算規則は、平成19年8月9日付内閣府令第61号および平成21年6月24日付内閣府令第35号により改正されておりますが、第9期計算期間(平成19年6月23日から平成20年6月23日まで)については内閣府令第61号附則第3条により、内閣府令第61号改正前の投資信託財産計算規則および内閣府令第35号改正前の投資信託財産計算規則に基づき作成しており、第10期計算期間(平成20年6月24日から平成21年6月22日まで)については内閣府令第61号改正後の投資信託財産計算規則および内閣府令第35号附則第16条第2項により、内閣府令第35号改正前の投資信託財産計算規則に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第9期計算期間(平成19年6月23日から平成20年6月23日まで)および第10期計算期間(平成20年6月24日から平成21年6月22日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)(以下「中間財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第10期中間計算期間(平成20年6月24日から平成20年12月23日まで)および第11期中間計算期間(平成21年6月23日から平成21年12月22日まで)について内閣府令第50号附則第4条第1項第1号により、改正前の中間財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、投資信託財産計算規則は、平成21年6月24日付内閣府令第35号により改正されておりますが、第10期中間計算期間(平成20年6月24日から平成20年12月23日まで)については改正前の投資信託財産計算規則に基づき作成しており、第11期中間計算期間(平成21年6月23日から平成21年12月22日まで)については改正後の投資信託財産計算規則に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第10期中間計算期間(平成20年6月24日から平成20年12月23日まで)および第11期中間計算期間(平成21年6月23日から平成21年12月22日まで)の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

その監査報告書および中間監査報告書は、該当する財務諸表および中間財務諸表の直前に添付しております。

独立監査人の監査報告書


平成20年8月29日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社


取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

杉山 正治 

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

木村 修 

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている朝日ライフ クオন্ツ 日本株オープンの平成19年6月23日から平成20年6月23日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、朝日ライフ クオন্ツ 日本株オープンの平成20年6月23日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上


独立監査人の監査報告書


平成21年8月28日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉山 正治 

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 修 

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている朝日ライフ クオオンツ 日本株オープンの平成20年6月24日から平成21年6月22日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、朝日ライフ クオオンツ 日本株オープンの平成21年6月22日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

1 財務諸表

朝日ライフ クオントツ 日本株オープン

(1) 貸借対照表

(単位：円)

	第9期 (平成20年 6月23日現在)	第10期 (平成21年 6月22日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	88,668,571	34,559,768
親投資信託受益証券	2,060,064,621	1,378,088,746
未収利息	923	56
前払金	1,414,000	315,000
差入委託証拠金	4,480,000	2,025,000
流動資産合計	2,154,628,115	1,414,988,570
資産合計	2,154,628,115	1,414,988,570
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	2,216,414	251,664
未払受託者報酬	1,093,976	654,271
未払委託者報酬	12,033,742	7,196,915
その他未払費用	54,640	32,655
流動負債合計	15,398,772	8,135,505
負債合計	15,398,772	8,135,505
純資産の部		
元本等		
元本	2,909,950,107	2,901,069,490
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	770,720,764	1,494,216,425
(分配準備積立金)	351,318,031	361,584,023
元本等合計	2,139,229,343	1,406,853,065
純資産合計	2,139,229,343	1,406,853,065
負債純資産合計	2,154,628,115	1,414,988,570

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位 : 円)

	第9期 自平成19年 6月23日 至平成20年 6月23日	第10期 自平成20年 6月24日 至平成21年 6月22日
営業収益		
受取利息	420,984	101,449
有価証券売買等損益	722,251,573	681,975,875
派生商品取引等損益	33,662,321	26,799,195
営業収益合計	755,492,910	708,673,621
営業費用		
受託者報酬	2,475,928	1,536,717
委託者報酬	27,235,130	16,903,764
その他費用	123,675	76,712
営業費用合計	29,834,733	18,517,193
営業利益	785,327,643	727,190,814
経常利益	785,327,643	727,190,814
当期純利益	785,327,643	727,190,814
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額	4,655,948	11,843,251
期首剰余金又は期首欠損金 ()	16,306,898	770,720,764
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	12,549,488
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	12,549,488
剰余金減少額又は欠損金増加額	6,355,967	20,697,586
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	80,520	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	6,275,447	20,697,586
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金 ()	770,720,764	1,494,216,425

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第9期 自 平成19年6月23日 至 平成20年6月23日	第10期 自 平成20年6月24日 至 平成21年6月22日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額により評価しております。	親投資信託受益証券 同左
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	有価証券先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、当該取引所の発表する計算期間末日に知りうる直近の清算値段により評価しております。	有価証券先物取引 同左
3. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益 同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	第9期 (平成20年6月23日現在)	第10期 (平成21年6月22日現在)
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	2,437,678,382円	2,909,950,107円
期中追加設定元本額	498,327,708円	37,962,894円
期中一部解約元本額	26,055,983円	46,843,511円
2. 計算期間末日における受益権の総数	2,909,950,107口	2,901,069,490口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本を下回っており、その金額は770,720,764円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本を下回っており、その金額は1,494,216,425円であります。
4. 1単位(1万円)当たりの純資産額 (1口当たりの純資産額)	7,351円 (0.7351円)	4,849円 (0.4849円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

	第 9 期 自 平成19年 6 月23日 至 平成20年 6 月23日	第10期 自 平成20年 6 月24日 至 平成21年 6 月22日
1 . 分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(10,788,201円)、費用控除後・繰越欠損金補填後有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(99,196,868円)および分配準備積立金(340,529,830円)より、分配可能額は450,514,899円(1 万口当たり1,548円)でありましたが、今期は分配を行いませんでした。	計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,821,788円)、費用控除後・繰越欠損金補填後有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(103,469,768円)および分配準備積立金(345,762,235円)より、分配可能額は465,053,791円(1 万口当たり1,603円)でありましたが、今期は分配を行いませんでした。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

第 9 期(自 平成19年 6 月23日 至 平成20年 6 月23日)

種類	貸借対照表計上額(円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	2,060,064,621	722,251,573
合計	2,060,064,621	722,251,573

第10期(自 平成20年 6 月24日 至 平成21年 6 月22日)

種類	貸借対照表計上額(円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	1,378,088,746	681,975,875
合計	1,378,088,746	681,975,875

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の状況に関する事項

<p style="text-align: center;">第9期 自 平成19年6月23日 至 平成20年6月23日</p>	<p style="text-align: center;">第10期 自 平成20年6月24日 至 平成21年6月22日</p>
<p>1.取引の内容 当ファンドの利用しているデリバティブ取引は、株価指数先物取引であります。</p> <p>2.取引に対する取組方針 株価指数先物取引につきましては、信託約款上の投資制限を遵守しております。</p> <p>3.取引の利用目的 信託財産が運用対象とする有価証券の価格変動リスク及び信託財産に属する資産の価格変動リスクを回避するためであります。</p> <p>4.取引に係るリスクの内容 株価指数先物取引は、相場変動によるリスク（価格変動リスク）を有しておりますが、ヘッジ目的で利用しているため、評価損益が財務諸表に与える影響は限定的です。また、流動性リスクを有しておりますが、市場にて取引を行っているため、当リスクは低いと考えております。</p> <p>5.取引に係るリスクの管理体制 デリバティブ取引の執行・管理については、社内運用委員会により承認されたファンドの運用計画書に従い執行を行い、管理部門がその執行・組入れ状況を管理しております。また、独立部門である考査部門が、運用計画書の遵守状況ならびに執行・組入れに係る管理状況を審査し、必要に応じて速やかに関連部門へ注意・勧告を行っております。</p> <p>6.取引の時価等に関する事項についての補足説明 取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	<p>1.取引の内容 同左</p> <p>2.取引に対する取組方針 同左</p> <p>3.取引の利用目的 同左</p> <p>4.取引に係るリスクの内容 同左</p> <p>5.取引に係るリスクの管理体制 同左</p> <p>6.取引の時価等に関する事項についての補足説明 同左</p>

取引の時価等に関する事項

株式関連

種類	第9期 (平成20年6月23日現在)			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち1年超		
市場取引 株価指数先物取引 買建 TOPIX先物	96,506,414	-	94,290,000	2,216,414
合計	96,506,414	-	94,290,000	2,216,414

種類	第10期 (平成21年6月22日現在)			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち1年超		
市場取引 株価指数先物取引 買建 TOPIX先物	46,301,664	-	46,050,000	251,664
合計	46,301,664	-	46,050,000	251,664

(注) 時価評価にあたっては、当該取引所の発表する計算期間末日に知りうる清算値段により評価しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

第9期 自 平成19年6月23日 至 平成20年6月23日	第10期 自 平成20年6月24日 至 平成21年6月22日
該当事項はありません。	同左

(4) 附属明細表

有価証券明細表

(株式)

該当事項はありません。

(株式以外の有価証券)

(平成21年6月22日現在)

種類	銘柄	券面総額	評価額(円)	備考
親投資信託受益証券	朝日ライフクオンツ日本株マザーファンド	1,789,493,243	1,378,088,746	
合計		1,789,493,243	1,378,088,746	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
当表に記載すべき内容は、「注記表（デリバティブ取引に関する注記） 取引の時価等に関する事項」にて開示しておりますので、記載を省略しております。

（参考情報）

当ファンドは、「朝日ライフ クオントツ 日本株マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて「朝日ライフ クオントツ 日本株マザーファンド」の受益証券です。

なお、「朝日ライフ クオントツ 日本株マザーファンド」の状況は以下の通りです。

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

（単位：円）

	(平成20年 6月23日現在)	(平成21年 6月22日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	12,248,023	7,200,615
株式	2,031,767,500	1,358,625,800
未収配当金	16,016,885	12,272,863
未収利息	127	11
流動資産合計	2,060,032,535	1,378,099,289
資産合計	2,060,032,535	1,378,099,289
純資産の部		
元本等		
元本	1,789,493,243	1,789,493,243
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	270,539,292	411,393,954
元本等合計	2,060,032,535	1,378,099,289
純資産合計	2,060,032,535	1,378,099,289
負債純資産合計	2,060,032,535	1,378,099,289

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 平成19年 6月23日 至 平成20年 6月23日	自 平成20年 6月24日 至 平成21年 6月22日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、有価証券報告書における開示対象ファンドの計算期間末日の証券取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は証券会社等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。</p> <p>時価評価にあたっては、有価証券報告書における開示対象ファンドの計算期間末日の金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額、未だ確定していない場合は予想配当金を計上しております。ただし、平成19年 6月30日以前に計上(平成19年 7月 1日以降に変更されたものを除く)した受取配当金については、その金額が確定しているものについては当該金額、未だ確定していない場合は予想配当金額の90%を計上し、残額については入金時に計上しております。</p> <p>有価証券売買等損益</p> <p>約定日基準で計上しております。</p>	<p>受取配当金</p> <p>原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額、未だ確定していない場合は予想配当金を計上しております。</p> <p>有価証券売買等損益</p> <p>同左</p>
3. 会計方針の変更	<p>受取配当金</p> <p>受取配当金は、従来、原則として配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額、未だ確定していない場合は予想配当金額の90%を計上し、残額については入金時に計上していましたが、「投資信託に関する会計規則に関する細則等」の改正により、平成19年 7月 1日以降計上する受取配当金については、原則として配当落ち日において、予想配当金額の全額を計上する方法に変更しました。</p> <p>これにより、営業利益金額、経常利益金額及び当期純利益金額は1,601,689円増加しております。</p>	-

(貸借対照表に関する注記)

項目	(平成20年 6月23日現在)	(平成21年 6月22日現在)
1.有価証券報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	1,468,671,940円	1,789,493,243円
期中追加設定元本額	320,821,303円	-
期中一部解約元本額	-	-
2.元本の内訳		
朝日ライフ クオオンツ 日本株オープン	1,789,493,243口	1,789,493,243口
3.有価証券報告書における開示対象ファンドの計算期間末日における受益権の総数	1,789,493,243口	1,789,493,243口
4.元本の欠損	-	貸借対照表上の純資産額が元本を下回っており、その金額は411,393,954円であります。
5.1単位(1万口)当たりの純資産額 (1口当たりの純資産額)	11,512円 (1.1512円)	7,701円 (0.7701円)

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(自 平成19年 6月23日 至 平成20年 6月23日)

種類	貸借対照表計上額(円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
株式	2,031,767,500	365,757,333
合計	2,031,767,500	365,757,333

(自 平成20年 6月24日 至 平成21年 6月22日)

種類	貸借対照表計上額(円)	当計算期間の損益に含まれた 評価差額(円)
株式	1,358,625,800	250,845,784
合計	1,358,625,800	250,845,784

(デリバティブ取引に関する注記)

自 平成19年 6月23日 至 平成20年 6月23日	自 平成20年 6月24日 至 平成21年 6月22日
デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。	同左

(関連当事者との取引に関する注記)

自 平成19年 6月23日 至 平成20年 6月23日	自 平成20年 6月24日 至 平成21年 6月22日
該当事項はありません。	同左

(3) 附属明細表
 有価証券明細表

(株式)

(平成21年6月22日現在)

通貨	銘柄	株数	評価額		備考
			単価	金額	
日本円	日本水産	23,200	260.00	6,032,000	
	日鉄鉱業	11,000	421.00	4,631,000	
	東亜建設工業	39,000	142.00	5,538,000	
	麒麟ホールディングス	3,000	1,325.00	3,975,000	
	三国コカ・コーラボトリング	4,500	770.00	3,465,000	
	キッコーマン	5,000	962.00	4,810,000	
	日本たばこ産業	13	315,000.00	4,095,000	
	オンワードホールディングス	12,000	617.00	7,404,000	
	日本製紙グループ本社	3,000	2,385.00	7,155,000	
	信越化学工業	2,900	4,570.00	13,253,000	
	三菱瓦斯化学	8,000	501.00	4,008,000	
	花王	2,000	2,070.00	4,140,000	
	太陽インキ製造	3,500	2,100.00	7,350,000	
	東洋インキ製造	31,000	300.00	9,300,000	
	日東電工	2,000	2,790.00	5,580,000	
	武田薬品工業	6,600	3,770.00	24,882,000	
	アステラス製薬	3,000	3,450.00	10,350,000	
	大日本住友製薬	9,000	833.00	7,497,000	
	田辺三菱製薬	10,000	1,087.00	10,870,000	
	科研製薬	4,000	855.00	3,420,000	
	小野薬品工業	2,900	4,220.00	12,238,000	
	大正製薬	8,000	1,787.00	14,296,000	
	キヨーリン	4,000	1,482.00	5,928,000	
	新日本石油	28,000	563.00	15,764,000	
	新日鉱ホールディングス	21,500	495.00	10,642,500	
	出光興産	700	8,510.00	5,957,000	
	日本電気硝子	9,000	973.00	8,757,000	
	住友大阪セメント	18,000	208.00	3,744,000	
	フジインコーポレーテッド	5,100	1,536.00	7,833,600	
	新日本製鐵	13,000	365.00	4,745,000	
	ジェイ エフ イー ホールディングス	1,500	3,220.00	4,830,000	
	東京製鐵	3,500	1,145.00	4,007,500	
	日本金属工業	22,000	213.00	4,686,000	
	住友金属鉱山	9,000	1,413.00	12,717,000	
	アマダ	14,000	610.00	8,540,000	
	小森コーポレーション	4,200	1,207.00	5,069,400	
	ダイフク	11,000	664.00	7,304,000	
	平和	6,400	1,078.00	6,899,200	
	SANKYO	1,400	4,970.00	6,958,000	

セガサミーホールディングス	4,700	1,128.00	5,301,600
NTN	27,000	373.00	10,071,000
イビデン	2,400	2,630.00	6,312,000
コニカミノルタホールディングス	10,500	942.00	9,891,000
ブラザー工業	4,000	865.00	3,460,000
ミネベア	13,000	395.00	5,135,000
オムロン	2,700	1,390.00	3,753,000
富士通	12,000	508.00	6,096,000
パナソニック	11,000	1,304.00	14,344,000
ソニー	3,800	2,510.00	9,538,000
TDK	2,400	4,450.00	10,680,000
SMK	19,000	337.00	6,403,000
ホシデン	3,300	1,176.00	3,880,800
ヒロセ電機	900	10,240.00	9,216,000
アドバンテスト	6,500	1,719.00	11,173,500
キーエンス	300	19,070.00	5,721,000
メガチップス	2,600	2,075.00	5,395,000
スタンレー電気	4,600	1,672.00	7,691,200
ウシオ電機	2,500	1,428.00	3,570,000
ファナック	2,000	7,450.00	14,900,000
ローム	1,000	6,510.00	6,510,000
村田製作所	2,000	4,000.00	8,000,000
キヤノン	8,900	3,210.00	28,569,000
東京エレクトロン	2,400	4,490.00	10,776,000
日産自動車	7,700	599.00	4,612,300
トヨタ自動車	17,100	3,680.00	62,928,000
新明和工業	20,000	340.00	6,800,000
本田技研工業	10,900	2,585.00	28,176,500
エフ・シー・シー	3,100	1,254.00	3,887,400
テルモ	1,000	4,070.00	4,070,000
HOYA	3,700	1,872.00	6,926,400
大日本印刷	7,000	1,238.00	8,666,000
ヤマハ	10,800	1,170.00	12,636,000
任天堂	400	25,740.00	10,296,000
東京電力	4,700	2,500.00	11,750,000
中部電力	9,600	2,230.00	21,408,000
関西電力	2,500	2,130.00	5,325,000
東北電力	3,500	2,005.00	7,017,500
九州電力	6,800	2,060.00	14,008,000
電源開発	2,900	2,690.00	7,801,000
東日本旅客鉄道	2,400	5,770.00	13,848,000
西日本旅客鉄道	25	322,000.00	8,050,000
阪急阪神ホールディングス	19,000	449.00	8,531,000
日本通運	11,000	417.00	4,587,000
山九	16,000	360.00	5,760,000
セイノーホールディングス	8,000	791.00	6,328,000

日本郵船	24,000	422.00	10,128,000
商船三井	16,000	639.00	10,224,000
川崎汽船	35,000	420.00	14,700,000
フジ・メディア・ホールディングス	100	140,200.00	14,020,000
オービック	830	15,660.00	12,997,800
日本ユニシス	5,000	850.00	4,250,000
日本テレビ放送網	1,000	11,350.00	11,350,000
テレビ朝日	67	148,400.00	9,942,800
日本電信電話	7,500	3,830.00	28,725,000
KDDI	44	496,000.00	21,824,000
光通信	2,800	2,075.00	5,810,000
エヌ・ティ・ティ・ドコモ	201	140,200.00	28,180,200
東宝	8,100	1,434.00	11,615,400
エヌ・ティ・ティ・データ	52	314,000.00	16,328,000
スクウェア・エニックス・ホールディングス	2,000	2,420.00	4,840,000
コナミ	4,000	1,832.00	7,328,000
双日	50,200	214.00	10,742,800
伊藤忠商事	6,000	662.00	3,972,000
三井物産	3,900	1,164.00	4,539,600
三菱商事	5,400	1,810.00	9,774,000
エディオン	11,800	587.00	6,926,600
セブン&アイ・ホールディングス	8,900	2,315.00	20,603,500
ファミリーマート	4,400	3,130.00	13,772,000
青山商事	3,000	1,753.00	5,259,000
丸井グループ	20,300	701.00	14,230,300
ユニー	5,000	853.00	4,265,000
ペルーナ	14,850	364.00	5,405,400
三菱UFJフィナンシャル・グループ	66,700	615.00	41,020,500
中央三井トラスト・ホールディングス	14,000	371.00	5,194,000
三井住友フィナンシャルグループ	5,200	4,190.00	21,788,000
千葉銀行	13,000	610.00	7,930,000
横浜銀行	16,000	476.00	7,616,000
群馬銀行	9,000	516.00	4,644,000
ふくおかフィナンシャルグループ	17,000	424.00	7,208,000
広島銀行	14,000	399.00	5,586,000
住友信託銀行	16,000	533.00	8,528,000
みずほフィナンシャルグループ	69,000	249.00	17,181,000
大和証券グループ本社	8,000	657.00	5,256,000
野村ホールディングス	20,300	822.00	16,686,600
三井住友海上グループホールディングス	2,000	2,630.00	5,260,000
損害保険ジャパン	6,000	652.00	3,912,000
あいおい損害保険	9,000	462.00	4,158,000
東京海上ホールディングス	6,400	2,645.00	16,928,000
クレディセゾン	3,900	1,306.00	5,093,400
オリックス	940	6,270.00	5,893,800
三井不動産	8,000	1,645.00	13,160,000

	三菱地所	8,000	1,579.00	12,632,000
	東京建物	11,000	559.00	6,149,000
	住友不動産	3,000	1,748.00	5,244,000
	イオンモール	3,000	1,898.00	5,694,000
	パシフィックゴルフグループインターナショナル ホールディングス	120	62,400.00	7,488,000
	オリエンタルランド	2,400	6,560.00	15,744,000
	ユー・エス・エス	2,030	4,890.00	9,926,700
	エイチ・アイ・エス	2,200	2,055.00	4,521,000
	セコム	2,000	3,980.00	7,960,000
計	(140銘柄)	1,262,172		1,358,625,800

(株式以外の有価証券)
該当事項はありません。

信用取引契約残高明細表
該当事項はありません。


デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表
該当事項はありません。


独立監査人の中間監査報告書

平成21年2月26日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 杉山 正治 
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 木村 修 
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている朝日ライフ クオন্ツ 日本株オープンの平成20年6月24日から平成20年12月23日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、朝日ライフ クオন্ツ 日本株オープンの平成20年12月23日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(平成20年6月24日から平成20年12月23日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

独立監査人の中間監査報告書

平成22年2月24日


朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人


指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

杉山正志 

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

木村 修 

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている朝日ライフ クオন্ツ 日本株オープンの平成21年6月23日から平成21年12月22日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。この中間財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国における中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。中間監査は分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続を適用して行われている。当監査法人は、中間監査の結果として中間財務諸表に対する意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、朝日ライフ クオন্ツ 日本株オープンの平成21年12月22日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成21年6月23日から平成21年12月22日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

中間財務諸表

朝日ライフ クオントツ 日本株オープン

(1) 中間貸借対照表

(単位 : 円)

	第10期中間計算期間 (平成20年12月23日現在)	第11期中間計算期間 (平成21年12月22日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	41,951,755	39,102,393
親投資信託受益証券	1,276,445,530	1,312,724,909
派生商品評価勘定	1,559,553	270,984
未収利息	57	64
前払金	-	120,000
差入委託証拠金	5,580,000	1,200,000
流動資産合計	1,325,536,895	1,353,418,350
資産合計	1,325,536,895	1,353,418,350
負債の部		
流動負債		
前受金	672,000	-
未払解約金	2,222,482	-
未払受託者報酬	874,897	724,949
未払委託者報酬	9,623,810	7,974,425
その他未払費用	43,680	36,187
流動負債合計	13,436,869	8,735,561
負債合計	13,436,869	8,735,561
純資産の部		
元本等		
元本	2,906,891,975	2,889,912,727
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金 ()	1,594,791,949	1,545,229,938
(分配準備積立金)	349,323,662	359,938,778
元本等合計	1,312,100,026	1,344,682,789
純資産合計	1,312,100,026	1,344,682,789
負債純資産合計	1,325,536,895	1,353,418,350

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	第10期中間計算期間 自平成20年 6月24日 至平成20年12月23日	第11期中間計算期間 自平成21年 6月23日 至平成21年12月22日
営業収益		
受取利息	93,306	11,348
有価証券売買等損益	783,619,091	47,363,837
派生商品取引等損益	29,966,311	677,319
営業収益合計	813,492,096	48,029,808
営業費用		
受託者報酬	874,897	724,949
委託者報酬	9,623,810	7,974,425
その他費用	43,680	36,187
営業費用合計	10,542,387	8,735,561
営業利益	824,034,483	56,765,369
経常利益	824,034,483	56,765,369
中間純利益	824,034,483	56,765,369
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額	2,640,973	23,185
期首剰余金又は期首欠損金()	770,720,764	1,494,216,425
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,481,171	6,894,407
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,481,171	6,894,407
剰余金減少額又は欠損金増加額	7,158,846	1,165,736
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	7,158,846	1,165,736
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	1,594,791,949	1,545,229,938

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第10期中間計算期間 自平成20年 6月24日 至平成20年12月23日	第11期中間計算期間 自平成21年 6月23日 至平成21年12月22日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額により評価しております。	親投資信託受益証券 同左
2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	有価証券先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、当該取引所の発表する中間計算期間末日に知りうる直近の清算値段により評価しております。	有価証券先物取引 同左
3. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益 同左

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第10期中間計算期間 (平成20年12月23日現在)	第11期中間計算期間 (平成21年12月22日現在)
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額		
期首元本額	2,909,950,107円	2,901,069,490円
期中追加設定元本額	13,725,747円	2,193,506円
期中一部解約元本額	16,783,879円	13,350,269円
2. 中間計算期間末日における受益権の総数	2,906,891,975口	2,889,912,727口
3. 元本の欠損	中間貸借対照表上の純資産額が元本を下回っており、その金額は1,594,791,949円であります。	中間貸借対照表上の純資産額が元本を下回っており、その金額は1,545,229,938円であります。
4. 1単位(1万口)当たりの純資産額 (1口当たりの純資産額)	4,514円 (0.4514円)	4,653円 (0.4653円)

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

種類	第10期中間計算期間 (平成20年12月23日現在)			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
	うち1年超			
市場取引 株価指数先物取引 買建 TOPIX先物	49,410,447	-	50,970,000	1,559,553
合計	49,410,447	-	50,970,000	1,559,553

種類	第11期中間計算期間 (平成21年12月22日現在)			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
	うち1年超			
市場取引 株価指数先物取引 買建 TOPIX先物	35,789,016	-	36,060,000	270,984
合計	35,789,016	-	36,060,000	270,984

(注) 時価評価にあたっては、当該取引所の発表する中間計算期間末日に知りうる清算値段により評価しております。

(参考情報)

当ファンドは、「朝日ライフ クオッツ 日本株マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて「朝日ライフ クオッツ 日本株マザーファンド」の受益証券です。

なお、「朝日ライフ クオッツ 日本株マザーファンド」の状況は以下のとおりです。

「朝日ライフ クオッツ 日本株マザーファンド」の状況

以下に記載した情報は監査の対象外であります。

(1) 貸借対照表

(単位：円)

	(平成20年12月23日現在)	(平成21年12月22日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	18,497,124	15,671,814
株式	1,257,832,000	1,297,022,190
未収配当金	63,000	-
未収利息	25	25
流動資産合計	1,276,392,149	1,312,694,029
資産合計	1,276,392,149	1,312,694,029
負債の部		
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	1,789,493,243	1,764,889,634
剰余金		
剰余金又は欠損金()	513,101,094	452,195,605
元本等合計	1,276,392,149	1,312,694,029
純資産合計	1,276,392,149	1,312,694,029
負債純資産合計	1,276,392,149	1,312,694,029

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 平成20年 6月24日 至 平成20年12月23日	自 平成21年 6月23日 至 平成21年12月22日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、半期報告書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の金融商品取引所における最終相場(最終相場のないものについては、それに準ずる価額)、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。	株式 同左
2. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、株式の配当落ち日において、その金額が確定している場合には当該金額、未だ確定していない場合は予想配当金を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。	受取配当金 同左 有価証券売買等損益 同左

(貸借対照表に関する注記)

項目	(平成20年12月23日現在)	(平成21年12月22日現在)
1. 半期報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額		
期首元本額	1,789,493,243円	1,789,493,243円
期中追加設定元本額	- 円	- 円
期中一部解約元本額	- 円	24,603,609円
2. 元本の内訳		
朝日ライフ クオオンツ 日本株オープン	1,789,493,243円	1,764,889,634円
3. 半期報告書における開示対象ファンドの中間計算期間末日における受益権の総数	1,789,493,243口	1,764,889,634口
4. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産が元本総額を下回っており、その金額は513,101,094円であります。	貸借対照表上の純資産が元本総額を下回っており、その金額は452,195,605円であります。
5. 1単位(1万口)当たりの純資産額 (1口当たりの純資産額)	7,133円 (0.7133円)	7,438円 (0.7438円)

(デリバティブ取引に関する注記)

(平成20年12月23日現在)	(平成21年12月22日現在)
デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。	同左

2 ファンドの現況
純資産額計算書

平成22年1月29日

資産総額	1,356,112,827 円
負債総額	2,660,361 円
純資産総額 (-)	1,353,452,466 円
発行済数量	2,885,774,708 口
1口当たり純資産額 (/)	0.4690 円
(1万口当たり純資産額)	(4,690 円)

<参考> マザーファンドの現況

平成22年1月29日

資産総額	1,325,691,253 円
負債総額	0 円
純資産総額 (-)	1,325,691,253 円
発行済数量	1,764,889,634 口
1口当たり純資産額 (/)	0.7511 円
(1万口当たり純資産額)	(7,511 円)

第5 設定及び解約の実績

期 間		設 定 数 量 (口)	解 約 数 量 (口)
第 1 計算期間	自 平成 11 年 7 月 2 日 至 平成 12 年 6 月 22 日	2,617,213,405	70,969,878
第 2 計算期間	自 平成 12 年 6 月 23 日 至 平成 13 年 6 月 22 日	556,028,274	333,603,440
第 3 計算期間	自 平成 13 年 6 月 23 日 至 平成 14 年 6 月 24 日	5,063,024	47,746,178
第 4 計算期間	自 平成 14 年 6 月 25 日 至 平成 15 年 6 月 23 日	1,148,315,626	15,904,819
第 5 計算期間	自 平成 15 年 6 月 24 日 至 平成 16 年 6 月 22 日	40,000	233,394,471
第 6 計算期間	自 平成 16 年 6 月 23 日 至 平成 17 年 6 月 22 日	120,000	13,725,452
第 7 計算期間	自 平成 17 年 6 月 23 日 至 平成 18 年 6 月 22 日	3,036,372	146,779,976
第 8 計算期間	自 平成 18 年 6 月 23 日 至 平成 19 年 6 月 22 日	168,938,817	1,198,952,922
第 9 計算期間	自 平成 19 年 6 月 23 日 至 平成 20 年 6 月 23 日	498,327,708	26,055,983
第 10 計算期間	自 平成 20 年 6 月 24 日 至 平成 21 年 6 月 22 日	37,962,894	46,843,511
第 11 計算期間 中間期	自 平成 21 年 6 月 23 日 至 平成 21 年 12 月 22 日	2,193,506	13,350,269

(注1) 日本国外における設定および解約はありません。

(注2) 第1計算期間の設定数量には、当初設定口数を含みます。



朝日ライフ アセットマネジメント